

JEAS技術交流会 発表資料
2024・12・13



環境アセスメント士会について

環境アセスメント士会運営委員会

本日のメニュー

- ①環境アセスメント士とは
- ②環境アセスメント士会とは
- ③環境アセスメント士会のはたす役割
- ④環境アセスメント士会の活動内容

①環境アセスメント士とは

環境アセスメント士とは

- 「環境アセスメント士」認定資格制度は、**環境アセスメントに専門特化した資格制度**。
- (社)日本環境アセスメント協会が資格認定を行う。
- 環境アセスメントに関する環境の調査、予測及び評価の実施、環境保全措置の検討、環境影響評価図書の作成・支援、環境アセスメントの制度、手続き等の実務について、**専門的な技術・技能を有し、その実務を的確に行える**ことを資格要件とする。

★平成26年国土交通省告示第1107号)に基づく「技術者資格」に登録

環境アセスメント士の資格部門

①生活環境部門

②自然環境部門

環境アセスメント士の受験資格

- ・四年制大学を卒業後、環境アセスメント関係業務の実務経験年数 **5年以上**の者
- ・大学院修了後、環境アセスメント関係業務の実務経験年数 **3年以上**の者
- ・上記以外は、環境アセスメント関係業務の実務経験年数 **8年以上**の者

環境アセスメント士試験 受験スケジュール

①「受験の手引き」の配布

6月上旬ころから

②受験申込申請(受付開始)

9月上旬ころから

受付終了 10月下旬ころ

③試験

毎年11月23日に実施

会場 2024年度は 仙台、東京、大阪、福岡

④合否発表

2月上旬ころ

②環境アセスメント士会とは

【設立】

2012(平成24)年5月

【設立趣旨】

・環境アセスメント士が持つ豊富な経験と専門的な知識に基づき、**お互いの連携を深めながら社会に情報発信**をし、環境アセスメント制度の信頼確保・持続可能な社会の構築に貢献していく

【会員資格】

- ・正会員：環境アセスメント士の方
- ・賛助会員：本会の活動に興味のある方や環境アセスメント士を志す方

【会員数(2024年11月末現在)】

- ・正会員 86名 (参考：環境アセスメント士 750名)
- ・賛助会員 13名

【入会金・年会費】

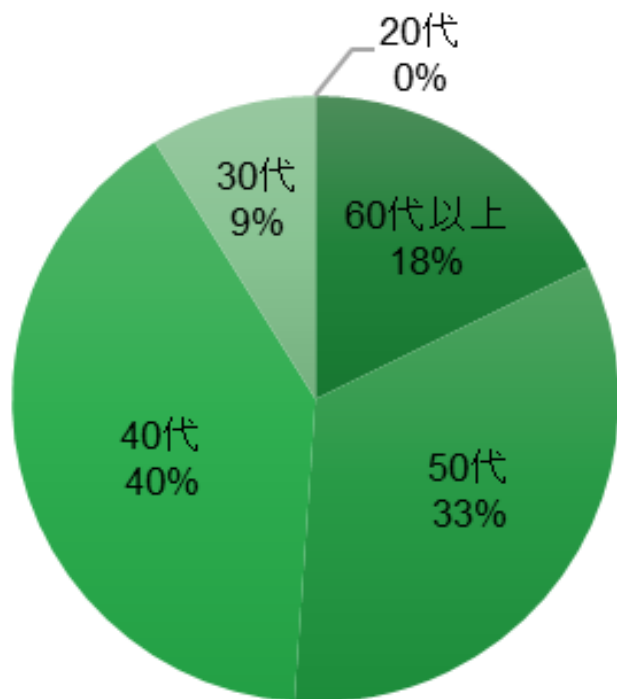
- ・入会金：無料
- ・年会費：正会員・賛助会員ともに 2,000円

③環境アセスメント士会の はたす役割

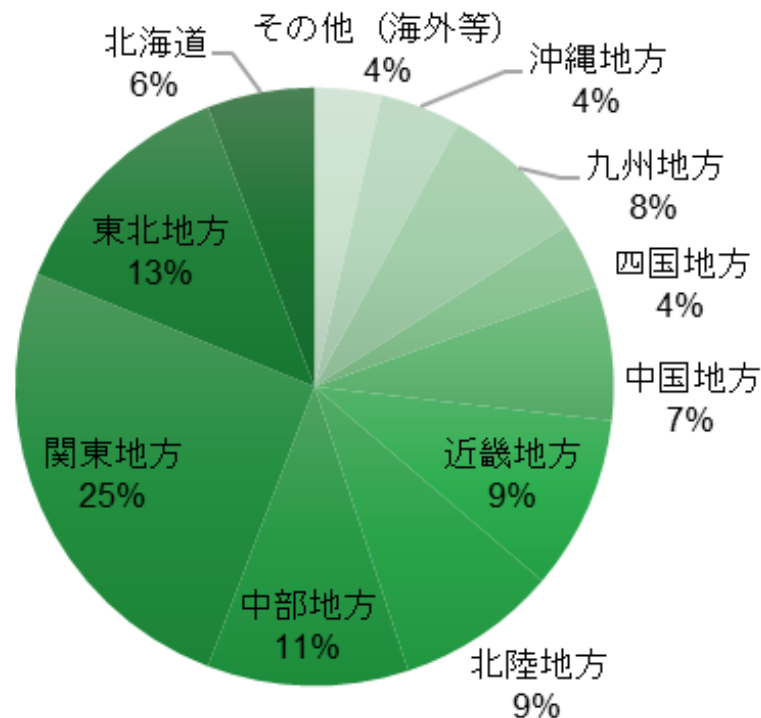
環境アセスメント士会のはたす役割

会員ニーズを把握するためのアンケートを2020年に実施し、皆様の生の声を聞きました。アンケート結果を紹介します。

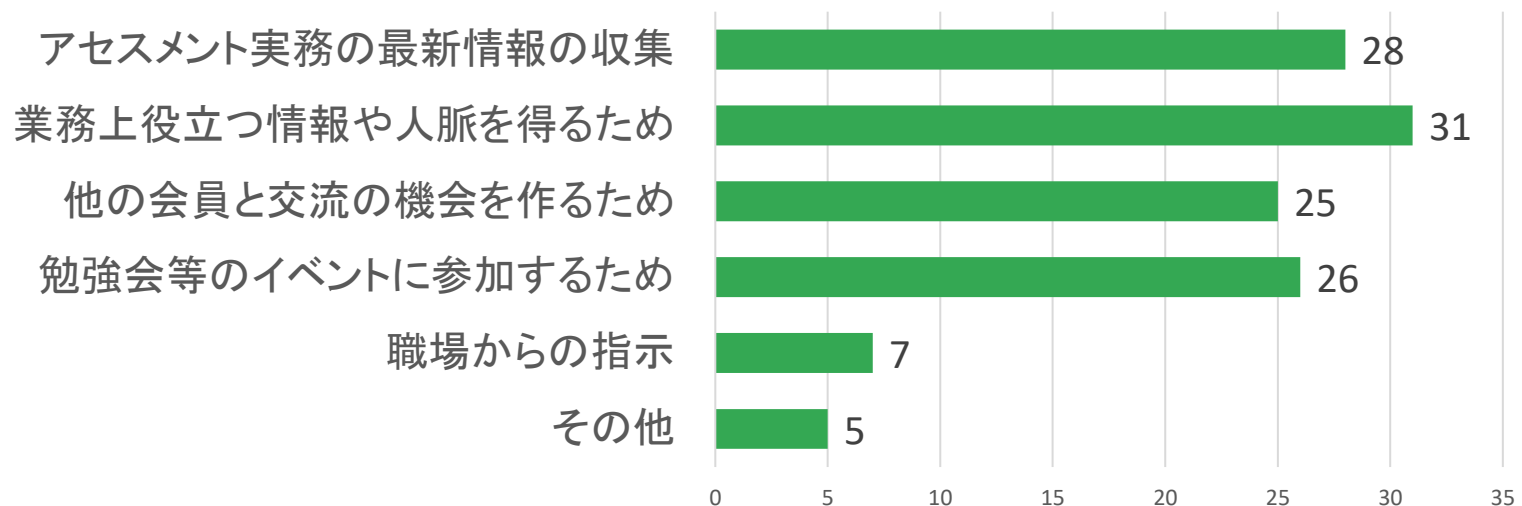
■会員の属性



■活動地域(複数回答)



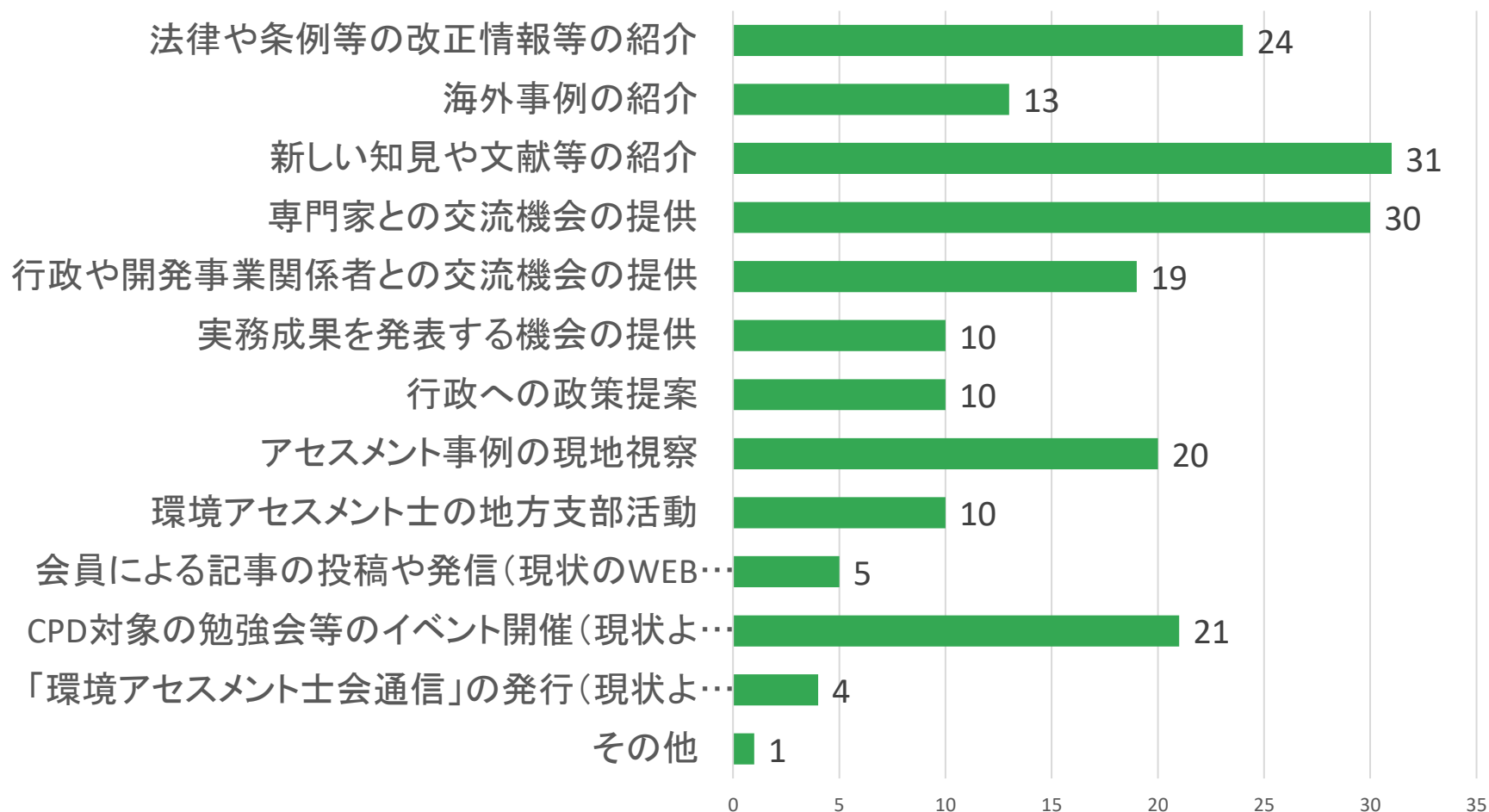
■ 会員となった理由(複数回答)



○「アセスメント実務に役立つ最新情報の収集」は大きなニーズ
→ 勉強会、セミナー等の開催により、会員の要望にお応え
しています！

○同じアセスメント分野の専門家同士の交流の機会、人脈の獲得
勉強会等イベントへの参加
→ イベント＋交流会(懇親会)でお応えしています！！

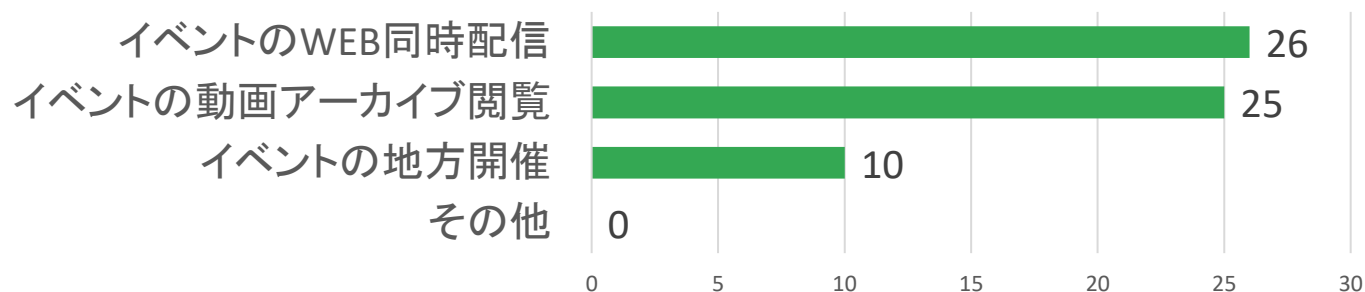
■ あったらよいと思うサービス(複数回答)



新しい知見など情報収集と共に専門家との交流などが多い一方、
成果の発表、行政への政策提案などにも関心がみられました。
CPD単位取得への活用への要望も大きいと言えます。

→ 勉強会はCPD受講証明書発行します！

■ 地方会員の参加拡大



イベントはオンライン併用で実施しています！
地方開催は10周年記念事業で実現しました(秋田)！

■ 今後の方向性

アンケートにおけるご要望や、運営委員会での議論を受けて、環境アセスメント士の信頼性の向上、活躍の場の拡大に向け、また社会ニーズ・関心の大きな分野(例: 気候変動、脱炭素社会構築、災害リスク)などへの会員向けの情報発信や他団体との連携などに今後も取り組んでいくことを検討しています。

あわせて、各取り組みの地方会員への水平展開にも注力していくこととしています。

④環境アセスメント士会の 活動内容

- HPの運営
- アセス士会通信の発行
- 勉強会の実施
- 周年記念事業

アセス士会 HP



一般社団法人 日本環境アセスメント協会

Japan Association of Environment Assessment

[>English](#)

SEARCH



JEAS News (会報誌)

組織概要

入会案内

活動報告

環境アセスメント認定資格

[ホーム](#) > 『環境アセスメント士会』公式ウェブサイト

会員専用メニュー

[会員専用ニュース](#)

[会員専用環境情報意見交換会](#)

[会員専用研究部会成果報告書](#)

メニュー

[トップページ](#)

[ご案内地図](#)

[新積算資料5.1販売](#)

[自治体環境情宝館\(都道府県\)](#)

[自治体環境情宝館\(政令指定都市\)](#)

『環境アセスメント士会』公式ウェブサイト

◆環境アセスメント士会のご紹介◆



「環境アセスメント士会」は、環境アセスメント士個人を基盤として、情報交換、連携強化、社会への働きかけ・アピールを目的として、平成24年5月25日に設立され、令和4年に創立10周年を迎えました。「個人の集まり」という特性を活かして、これまでにない様々な活動を進めています。たとえば、5周年記念事業として「クルーズ船による東京オリンピック会場(工事中)視察と都担当のアセス講演」、10周年記念事業として「秋田洋上・陸上風力発電視察とアセスメント」を行いました。今後も魅力ある活動を行っていきます。まだ加入さ

れていないアセス士の皆様の奮ってのご入会をお願いします。

- [環境アセスメント士会設立趣意書](#)
- [環境アセスメント士会規約\(平成28年6月10日改訂版\)](#)
- [平成30年度役員名簿](#)

アセス士会 通信



令和5年度 第2回勉強会のご報告

(一社)ヤマネ・いきもの研究所代表理事 湊 秋作氏と同研究所理事 齋場 葉留果氏をお招きしてご講演いただきました。

演題：「アニマルパスウェイについて ～ニホンヤマネとは、樹上性動物のためのコリドー(ギャノピーブリッジ)の意義～」

日時：令和6年1月26日(金) 18時～19時30分

場所：JEAS会議室及びWEB



(一社)ヤマネ・いきもの研究所代表理事 湊 秋作氏、理事 齋場 葉留果氏のご紹介

【湊 秋作】

和歌山県那智勝浦町生まれ、都留文科大学文学部初等教育学科卒業、兵庫教育大学大学院学校教育課程修士課程修了。小学校教師をしながらヤマネ研究で京都大学から理学博士を取得。紀伊半島南部で湿地保全・コウモリ保全・環境教育を行い、その後、やまねミュージアム館長、キープ協会環境教育事業部部長、関西学院大学教授、関西学院大学SDGs・生物多様性研究センター長を務め、現在、八ヶ岳山麓にある(一社)ヤマネ・いきもの研究所の代表理事であり、(一社)アニマルパスウェイと野生生物の会の会長でもある。天然記念物でかわいい「ヤマネ」や地域生態系を担っている「ふつうの生きもの」を研究し、守り、教育することで、未来の地球に貢献することを目指している。生物多様性教育を児童から高校生、企業人への展開中。



(写真右側：湊氏、左側：齋場氏)

【齋場 葉留果】

山梨県出身。(一社)ヤマネ・いきもの研究所理事。(一社)アニマルパスウェイと野生生物の会理事。ヤマネ研究で農学博士。ヤマネや身の回りにいる普通種生き物たちの調査研究を通し、子供から企業人までの教育活動や保全活動を行っている。保全活動であるアニマルパスウェイの開発・普及事業には2005年から関わっている。

参加者からの感想

ニホンヤマネ(日本の固有種、国の天然記念物)の生態と道路等の土木構造物が森林を分断することで、ヤマネやリス等の樹上性動物に及ぼす影響(移動経路の分断、ロードキルなど)の解説があり、その保全対策

勉強会

環境省担当者や、有識者による勉強会。

年度	実施回数
2012	1
2013	3
2014	3
2015	2
2016	2
2017	2
2018	2
2020	1
2021	1
2022	4
2023	2
2024	2
合計	25

2016年6月 対面方式

2024年1月 ハイブリッド方式

⇒**地方会員の方も参加しやすい**

勉強会 講演者（運営委員等除く）

区分	所属	演者
大学	東京大学	横張 真 先生
	明治大学大学院法務研究科	柳 憲一郎 先生
	桜美林大学	片谷教孝 先生
	東京農業大学	荒井歩 先生
	法政大学	田中 充 先生
	東京都市大学	田中章 先生
	東京工業大学	村山 武彦 先生
	法政大学	川久保 俊 先生
	早稲田大学	大河内 博 先生
	東京工業大学大学院	錦澤 繁雄 先生
行政	環境省環境影響評価課	會田 義明氏
	東京都環境局	東條 左絵子氏
	オリンピック・パラリンピックアセスメント担当	
その他	独立行政法人国際協力機構	比嘉勇也氏
	JETRO	作本直行氏
	一般財団法人日本気象協会	平松 信昭氏
	(一社)ヤマネ・いきもの研究所、(一社)アニマル	湊 秋作 氏
	パスウェイと野生生物の会	饗場 葉留果 氏

勉強会 演題

区分	演題
環境アセスメント	環境影響評価法を巡る最近の動向 風力発電アセス、 迅速化 等
	東京2020オリンピック・パラリンピック の環境アセスメント
	「 洋上風力発電所 に係る環境影響評価手法の技術ガイド」について
	環境アセスメントにおける 景観
	地域共生型再エネの導入に向けた ゾーニング の活用
	地球温暖化 と環境アセスメント
関連情報	気候変動問題 への対応と環境アセスメント
	まちづくりの環境性能評価 ― CASBEE ―街区のご紹介―
	赤道原則 ― 環境配慮を民間事業部門に―
	JICAの 環境社会配慮ガイドライン とEIA
	(一社)いきもの共生事業所推進協議会 (ABINC)の活動紹介
	「持続可能な開発目標SDGsの達成に向けた サステナビリティ・アセスメント
	実施の意義(持続可能性評価)
	グリーンインフラストラクチャー と環境アセスメントについて
いきもの技術	大気中のマイクロプラスチック の実態解明と健康影響評価
	「GISによる ポテンシャルマップ 」の魅力
	アニマルパスウェイ について ～ニホンヤマネ～
その他	環境アセスメント士へ伝えたいこと
	環境アセスメント士に期待すること アセス審議会委員 の立場から
	大学における 環境教育 の現状と展望

周年記念事業

- ・5周年記念事業 2017年11月
- ・10周年記念事業 2022年10月

環境アセスメント士会設立5周年イベント

2017年11月24日、『環境アセスメント士会』設立5周年記念として、特別講演会・現地見学会『東京2020オリンピック・パラリンピックの環境アセスメント』を開催しました。

特別講演では、東京都の環境影響評価のご担当者からオリンピック・パラリンピックの環境アセスメントの概要・特色をご説明いただきました。

環境アセスメント士会設立10周年イベント

2022年10月21～22日、『環境アセスメント士会』設立10周年記念として、現地視察会『風力発電の現状と環境アセスメント in秋田』を開催しました。

1日目は一般社団法人あきた地球環境会議および秋田市から協力をいただき、3箇所の風力発電施設を視察しました。

2日目は、秋田潟上ウインドファームで環境アセスメントを実施した(株)自然科学調査事務所の協力をいただき、環境アセスメントを実施したときに留意した点や苦労した点についてお話を聞きました。



秋田潟上ウインドファームの風車

男鹿半島の南側約6kmの海岸線に沿った防風林(ほぼ県有地)に設置された秋田潟上ウインドファームは、3.2MWの風車が22基、総出力約66MWの大規模風力発電所です。約4万世帯分の電力を賄える規模です。

設置されているのはGE社製風車で、全高は135m、ローター直径は103mと巨大です。

2017年から工事が実施され、2020年に運転が開始されました。

環境アセスメント士会設立15周年イベント！？

2027年を目標に15周年イベントを企画したいと思っています。有意義で**楽しい**イベントを考えて皆様をお迎えいたします。

ロゴマークの作成

5周年記念を目指して
「コンペ」でロゴマークの募集

平成29年(2017年)6月に結
果発表



記念品の作成 ⇒ 会員に配布しました

5周年記念:エコバック

10周年記念:風呂敷



ご清聴ありがとうございました。

**環境アセスメント士会への入会
お待ちしております**